



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2 年 4 月 20 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ムササチウチカイ
牟佐町内会

所在地

連絡先

代表者役職・フリガナ氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「産地牟佐」にこだわった地域活性化
事業実施区域 (小学校区)	牟佐町内会 (牧石学区)
①事業実施内容	多様な団体の皆さんとの協働により、豊かな自然と、その恵みを地域住民や子ども達に伝えていくための「産地牟佐」イベントを開催し、世代を超えて我が地域のアイデンティティを醸成することができました。 具体的には、ありがたいことにこの度も、自然の資源として「産地牟佐」の、①シシ肉②イノシシと鹿の皮革③川ガニ④日本蜜蜂のはちみつが準備できました。5月の文化祭会場では、十色に染められた地元産のイノシシや鹿の革およびそれらを手づくりで加工した革製品を展示したり、「牟佐」をテーマにした写真展を開催しました。6月には、井原市美星町東水砂公民館ご一行が大型バスを仕立てて牟佐まで区づくり推進事業のご視察に來られました。せっかくですから「産地牟佐」のイノシシ皮革を活用したタグに名前を書き込むワークショップも開催し、手土産としました。さらに6月は、予定通り「産地牟佐塾」を設立し、イノシシ皮革加工の技術向上に向けての取り組みをスタートさせました。ほぼ毎週木曜日にメンバー10名弱が集い、楽しい取り組みとなりました。今年も開催したのが、「牟佐っ子」子ども教室で、夏休み最初の日曜日が参議院選挙で公民館を使用できなくなったため開催が決まらずひやひやしましたが、2回目の日曜日に変更し開催できました。小学生を対象として暑い中でしたが、午前中は大塚古墳、神社に伝わる文化財、旭川の渡場など、地域にある自然や歴史の資源を現地を歩いて学んだ後、地元産イノシシの革を使つての小銭入れとバスカード入れ作りに挑戦しました。昼食には「産地牟佐」イノシシ肉のたっぷり入ったジビエカレーに舌鼓を打ちました。最後に、全員で感想文に挑戦。無事に終えることができました。しかしながら、8月から重要な拠点である北公民館牟佐分館が耐震改修工事のため、利用できなくなりました。それ以降、公民館を活用した予定行事はすべて中止せざるを得なくなりました。6月に設立した「産地牟佐塾」も、ほぼ毎週活動を続けてきましたが、公民館の工事のため途中で活動停止かと思いきや、住矢宅をお借りして、手づくり作品へ挑戦を続けることができました。10月には2日間を予定(例年5千人の来訪者あり)していた、地元の岡山刑務所矯正展が台風接近で中止となり、「産地牟佐」の手づくり皮革製品の販売の機会を失いました。ならばと、地元開催の黄ニラふれあい祭り会場でのフリーマーケットに初挑戦させていただきました。しかしながら、今度は、年度末近くから新型コロナウイルス感染防止のため、住矢宅をお借りすることもできなくなり完全に活動停止状態になってしまいました。 冒頭に記述しましたとおり、ほぼ事業は新しい一歩の歩みを進めることができました。

② 解決を目指した課題	昨今、我が地域は、農家が積極的に黄ニラやパクチーを全国的に売り出し、大きな注目を浴びています。一方では、山と川に囲まれた豊かな自然があり、種々の自然資源が存在しますが、今日では、ごく一部の人がそれらに関わるばかりで、一般の住民や子供達がそれらに直接触れる機会はほとんどありません。資源の存在も、ましてやそれらが活用できることも知られていません。日常にある、あるいは身近にあることは知っていても、触れることがないために、その価値を知らない、わからない。しかし、これでは地域にとっては大変に残念なことと言わざるを得ません。この貴重な資源を十分に活用することで、地域の活性化が図れるのではないかと考えます。
③ 目的・目標の達成状況	まずは根本的な課題であった有害獣捕獲駆除は、イノシシ約50頭という近年にない捕獲ができたことから、農作物への被害はずいぶん防衛できているとは言えると思います。 年度途中から、拠点である北公民館牟佐分館が耐震改修工事のため使用できなくなったことなどから、大幅に計画を中止せざるを得ない状況でしたが、取組みの内容は、子ども達を含む地域住民にも浸透してきたと言えます。前回から、「夏休みの工作の宿題としても提出できるものを」とのリクエストに応えたいとの思いで取り組んでいます。①「産地牟佐」か「パスカードケース」を選択してもらいました。①「産地牟佐」である地元の皮革、②イノシシの皮革はそもそも流通が少なく高価、③自分が作製、④自分のサインを焼き入れ等、世界に一つだけの宝物の作品を手にすることができたことは、何物にも代えがたいことであることを大人たちがしっかりと訴えました。 また、今回は現地を歩く真夏のフィールドワークでしたが、日本遺産に入った大塚古墳、旭川の渡場跡と集落に残る屋号など、地域に存在する自然や歴史の資源を学び合いました。資料作りから、現地の草刈りまで、何日も前から準備にあたったシニアのサポーターの皆さんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。平成29年度に、農林水産省が実施した鳥獣被害対策の表彰において、牟佐町内会が利活用部門で、中四国農政局長賞を受賞することができたことから、ネットお調べになってであろうと思われませんが、6月、井原市美星町東水砂公民館ご一行が大型バスで来牟されましたが、このようなことは過去聞いたことがありませんから、お迎えする我々の方も大変な刺激をいただきました。皆が自分のこととしてとらえることから、間違いなく地域全体の活性化につながっていると思います。今回の目玉の一つがイノシシ皮革加工のスキルアップでしたが、そのための「産地牟佐塾」を開設できたことは、大きな前進でした。早速、何度も講師をお呼びし、技術向上や新しい作品への挑戦を協議する中で、初めてのことばかりでしたが、大きな喜びにつながっていると思われます。刑務所矯正展が台風で中止になったことから、やむなくではありましたが、地元開催の黄ニラふれあい祭会場でのフリーマーケットで、「産地牟佐」のイノシシの皮革製品販売に初挑戦しましたが、課題も見えました。次への大きなモチベーションにもつながりました。やはり、外と接点を持つということは、持続可能性から見ても重要なことであると気づかされました。 外と言え、ネットで検索をかけたら、牟佐町内会が一番に出てきた」とおっしゃる方が、1月、牟佐を訪ねてこられました。イノシシの脂で作った石鹸が人にやさしいことから、ネットでのジビエ石鹸を売り出し中の方で、皮革製品販売にも興味をお持ちでした。私たちの作品が、ネットで、適正な価格で売れるのではないかとということです。次年度も、この「外」への展開を十分意識して取り組みたいと考えております。 残念なことは、予定していたイベントが中止になったため、せっかく8月に「産地牟佐」ニホンミツバチの蜂蜜をゲットしていただいたにもかかわらず、皆さんに味わっていただくチャンスがありませんでした。

④企画等の工夫と情報公開	「ネットで検索をかけたら、牟佐町内会が一番に出てきたので」とおっしゃる方が、1月、牟佐を訪ねてこられました。イノシシの脂で作った石鹸が人にやさしいことから、ネットでのジビエせっかんの売り出し中の方で、皮革製品販売にも興味をお持ちでした。私たちの作品が、ネットで、適正な価格で売れるのではないかとことです。様々な賞もいただいたことが、ネットの時代ですから、農水省にもしっかりと情報発信してくださっているわけです。もちろん地元も、電子町内会やフェイスブックで情報交換、情報発信をしているわけですが、その一つ一つが、実はとても大切なのではないかと感じています。 もちろん既存の媒体である町内会新聞をはじめ、様々な機会を通して、町内の方には情報発信を続けました。ここが最重要であることは間違いありませんから、着実にいきわたるように引き続き努めて参ります。
⑤次年度計画	町内の農家、猟師とまちづくり協議会等との連携により、 ・町内での農産物被害対策としての有害獣の駆除活動の紹介・学習 ・町内で駆除されたイノシシ等のジビエ利用や皮革活用（ワークショップ）等を通して自然資源の大切を学ぶ。 これについては、過去の取組みの参加者アンケートからも明確で、ワークショップに対する住民の関心度、満足度はとても高いようです。引き続き、参加の機会拡大に挑戦します。。獣被害については、イノシシにとどまらず、鹿の被害も始まっていますが、猟友会駆除班のご協力をいただいております。すぐに手を打っていただけることから住民の皆さんに安心をいただいております。ジビエ（シシ肉入りカレー等）も好評であったことから、そのPRのためにも、いわゆる子ども食堂的なものをイメージして、もう少し広く提供できないか検討してみたいと思います。 ・昨年立ち上げた「産地牟佐塾」において、町内で駆除された獣皮を活用した加工品づくりに取り組み、「産地牟佐」のブランドづくりに挑戦する。 「産地牟佐塾」で、加工の専門家に指導を受けながら、対価を得ることができるような「産地牟佐」ブランドの製品づくりにチャレンジをスタートさせましたが、さらに完成度の高い製品にも挑戦し、「産地牟佐」のブランドづくりに挑戦してみたいと思います。ちなみに、昨秋の、地元の岡山刑務所矯正展は台風接近のため中止となり、試作品販売はかなわなかったのですが、ならばと、地元開催の黄二ラふれあい祭り会場でのフリーマーケットにて販売に挑戦しました。来場者の関心も高く、好評であったことから、外を意識した新しい取り組みも考えています。 初の試みとして、イノシシの脂から作る石鹸が人にやさしいということから、ネット販売を手掛けるジビエソープさんと、イノシシ皮革製品のネット販売についてアドバイスを受けてみたい。 ・町内での蜂蜜づくりの挑戦・紹介・学習 ・地元の旭川で獲れた鮎、川ガ二等の紹介・学習・試食 ・町内にある「太戸の滝」の紹介 ・町内の自然や暮らしなど地域をテーマにした写真展の開催

自然の恵みは、存在はしていますが、①シシ肉②イノシシと鹿の皮革③川ガニ④はちみつなど、いずれも区づくり推進事業で企画して初めて住民の側が入手できたものであり、日常的に当たり前に入手できるものではありません。今年度も、それらを計画したとおり形にし、子ども達を含む地域住民と共有したいと考えています。

事業に協力いただいたのは、猟友会駆除班、川獺師、ミツバチ養蜂家、野菜農家、NPO岡山県セルフセンター、一般社団法人やさしい草、子ども会、シニアクラブ牟佐、住民ボランティア等々、正に多様な主体との協働ができたからこそ実現できたものです。そして背中を押してくれたのが、市の区づくり推進事業です。どれ一つ欠けても、おそらく実現できません。そういう緊張感がありますが、協力いただいた皆様に心から感謝申し上げたいのです。この多様な主体の力を借りて協働することにより、様々なアイデアが出されるし、新しい取り組みにつながっていくものではないでしょうか。その過程で、思いもしなかった副産物も生み出されました。平成30年度も、全く想定していなかった「マニフェスト大賞優秀成果賞受賞」に恵まれました。このような展開もまったく想像しておらず、喜びに絶えません。井原市美星町から公民館ご一行が大型バス一台で来牟されたのは、この区づくり推進事業が中四国農政局長賞をいただいていたからだと思われます。このようなことから、さらに地域コミュニティの力となって大きな励みになることは間違いないと思われます。私が強く感じているのは、誰よりも「市区づくり推進事業があったらこそ」と内外に向かって声高に叫んできたわけですが、担当の職員さん以外の職員さんや、審査員さんは、このことにあまり興味がないようです。提出した資料を本当にご覧いただいているだろうかとも思ったりします。事業が成果を上げているのかどうか測定することは困難ですが、私どもはかつてない幸福感とともに、次へのモチベーションの高まりを感じることが出来ます。間違いなく岡山市の事業がいかに素晴らしいかを証明することにもつながっています。そのことを審査員の方々はどうとらえておられるのだろうか。これが私がずっと感じている大きな謎です。

平成31年度事業前に審査員さんからいただいた意見として、「事業にかかわる関係者をももう少し増やすように」があります。町内会全体を巻き込んでやっているつもりです。夏休みには子ども会とコラボです。「産地牟佐塾」はシニアが中心です。世代を超えて参画いただいていると思うのです。「補助金の大幅増の狙い」を尋ねられていますが、「産地牟佐塾」として、イノシシ皮革を活用した本格的な製品を作るために、一から始めているわけですから、道具や材料が必要になってきたということです。したがって、適正な価格で販売することが必要なことなのだと思いますが、まだまだ駆け出しで安定していません。「牧石学区との関係」を尋ねられています。私たちの取組みは、学区でできないことが、町内会であればできるという証左です。学区は広く、山の上もあれば、平地もある。公共交通がある地域もあれば、困り果てている地域もあります。地域の課題は多様です。同様に課題意識も同じではありません。地域の課題解決は、取組みに特徴があればあるほど基本的に単位町内会が取り組んできました。地域コミュニティの中心は、単位町内会であることは間違いありません。と申しましても一定の規模がなければ、資金、人口も限られますから、困難なことではあります。しかし、何でもかんでも学区を一つの単位ととらえることは、正しくない面があると思うのです。

〇区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・販路が大きな課題
- ・事業の関係者を増やす
- ・学区全体の取組みは

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

（理由： ）

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
平成31年4月	「牟佐っ子子ども教室」第1回準備会議。以降、当日まで協議や準備作業が続いた。
令和元年5月18日	第10回牟佐ほのぼの文化祭で、「産地牟佐」イノシシの皮革および手づくり製品展示。併せて、募集していた「牟佐」をテーマにした写真を展示。
令和元年6月11日	井原市美星町東水砂公民館一行の視察受け入れ
令和元年6月22日	「産地牟佐塾」設立。以降ほぼ毎週木曜日に開催。
令和元年7月28日	「牟佐っ子子ども教室」3部構成で開催
令和元年8月	北公民館牟佐分館が耐震工事のため、「産地牟佐塾」の拠点を住矢管理人宅へ移動し、毎週木曜日に「産地牟佐塾」を開催。
令和元年8月14日	「産地牟佐」ニホンミツバチの蜂蜜収穫に成功
令和元年11月16日	第10回黄ニラふれあい祭のフリーマーケットに初出店
令和元年12月8日	「牟佐大塚古墳と歴史の道ウォーク」参加者に、大塚古墳をモチーフにした「産地牟佐」イノシシ皮革タグを記念品として配布するとともに、「産地牟佐」イノシシ皮革製品販売。
令和元年1月5日	イノシシの脂を使った石鹸が人にやさしいことからジビエソープを手がける の来訪を受ける。
令和2年3月8日	令和2年度区づくり推進事業審査会に出席

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	306,000	304,800	
負担金	276,000	246,850	
参加費	30,000	5,000	牟佐っ子ども教室
寄付、他収入		53,000	「産地牟佐」皮革製品販売
計	612,000	609,650	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	75,544	レザークラフト道具代
②食糧費	21,000	14,508	作業、会議飲料
③印刷製本費	20,000	0	
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	16,000	18,016	獣皮送料
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	4,776	振込手数料
⑨使用料・賃借料	25,000	55,000	「産地牟佐塾」会場、イノシシ捕獲柵、ニホンミツバチ巣箱借用
⑩原材料費	40,000	157,106	レザークラフト材料 ジビエ料理材料
⑪委託料	150,000	226,700	なめし加工代29枚 皮はぎ代29枚
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	120,000	58,000	ワークショップおよび「産地牟佐塾」講師料
⑭保険料	120,000	0	
⑮旅費	0	0	
計	612,000	609,650	